

OCPに完全に準拠した環境

CoreCreator[®]は、オープンコアプロトコル (OCP: Open Core Protocol) 実装の認証とOCP準拠コアの「コンポーネント化」に適した、グラフィカルベースまたはコマンドラインベースの単一環境です。CoreCreatorは、効率的なIPコアの再利用とSoC統合に必要なコアモデル、インターフェース、タイミングパラメータ、合成スクリプト、テストベクトル、および検証スイートの生成とパッケージングを効率化します。

認証とコンポーネント化は、次の3つの系統化されたタスクにより実現されます。すなわち (1) OCP実装の認証、(2) 関連するコア表記の取り込み、(3) コア再利用のためのパッケージングの3つです。

CoreCreatorは、コア (1つまたは複数) を促進するための環境、およびシステムでの性能と機能を解析するための環境も提供します。厳格なフィードバックループを特長とするCoreCreatorの高度な自動化により、コアを迅速にコンポーネント化することができ、わかりやすく予測のできる再利用が可能となります。

主な機能

既存のIPコアの導入や新しいIPコアの作成のための総合的な設計環境

- OCPプロトコルや物理的な制約への準拠性の検証
- 最大周波数およびゲートエリアの推定

自動化された機能検証の環境

- コンフィギュレーション、シミュレーション、論理合成、およびタイミング解析のための高度に自動化された環境
- IPコアのトラフィックトレースの生成
- システムの完全実装に依存しない、コア認証のためのコンフィギュラブルなOCP行動モデル
- ユーザー定義の (OCP以外の) コアインターフェースのサポート
- コンフィギュレーションファイルとタイミング制約を自動生成するためのTCLスクリプト

プラグアンドプレイ統合に適したIPコアのパッケージング

- 物理的な制約のエクストラクタとパッケージャ
- スキャンテストや機能ベクトルなど、必要なすべての検証ファイルのパッケージャ

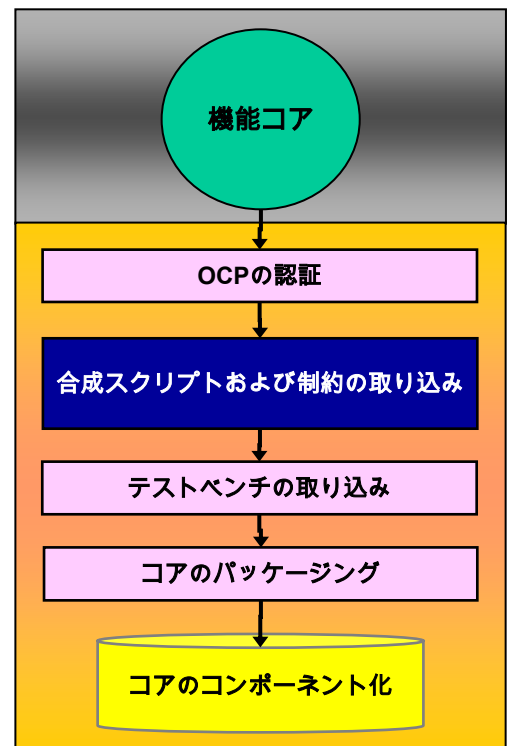
利点

開発期間の短縮

- OCP認証の合理化と自動化
- コアとシステムの開発を分離
- 複数のコアの並行開発が可能
- コアのデバッグと検証のための構造化環境を実現し、システムレベルの設計検証が可能

完全なIPの再利用

- コアI/Oの標準化
- ポータブルテストベンチの構築



OCP認証とコンポーネント化の合理化

オープンコアプロトコルの完全な規格書は、以下のURLを参照してください。

www.ocpip.org

